

第35回 東京都4年生サッカー大会 要項

< 大会趣旨 >

- ・少年サッカーの発展と育成を目指し、特に小学校中学年期にサッカーをする喜びと楽しさを身につけさせ、少年サッカーのレベル向上に努めるとともに東京都全域の交流を図る。
- ・発達段階を考慮し、試合に参加させることでサッカーの楽しさをより多くの子に体験させサッカーへの関心や意欲を育てる。
- ・8人制の試合をすることにより、一人ひとりの選手がボールに触れる機会をより多くし、みんなで助け合い励まし合って集団で運動する喜びや態度を育てるとともに、ポジションにこだわらず個々の技術を身につけていく場とする。
- ・フェアプレーで試合に臨み、同時に勝ち負けの結果をよりよく生かしていく力(技術、能力、考え方や態度等)を育てる。
- ・選手育成を第一と考え、多くの選手に試合経験を与えることとする。

1. 主催 公益財団法人 東京都サッカー協会 東京都少年サッカー連盟

2. 共催 東京新聞・東京中日スポーツ

3. 主管 東京都少年サッカー連盟

4. 協賛 公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会
東京都不動産協同組合

5. 期 日 ブロック大会 2016年 3月 1日 ~ 5月30日
中央大会 2016年 6月18日(土)・6月19日(日)

6. 会 場 中央大会 朝日サッカー場・府中市少年サッカー場

7. 参加資格

- (1) 2016年度(公財)日本サッカー協会第4種に登録した団体より1チームの参加。
- (2) 上記チームに所属する選手であり、本協会の登録選手証を有する選手証が発行されていない時期に公式戦に参加する際は Web 登録の承認済みの写しを代用する。
- (3) 年間を通してスポーツ保険に加入していること。
- (4) 小学校4年生以下で編成されたチーム。
ただし3年生以下の選手を含める場合は選手の健康・体格・体力・技能等を十分に考慮しチームの責任において出場させること。
- (5) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある成人の指導者であること。内1名以上が本協会公認コーチ資格D級コーチ以上及び公認キッズリーダー・ブロック指導者講習会受講者。

8. 競技規則

- (1) 試合は、実施年度「サッカー競技規則および「8人制サッカールール」」に準じる。
ただし、本大会要項に定められた事項が優先する。
- (2) 8人制とする。試合方法・形式は各ブロックに一任する。
- (3) 競技時間は、各ブロックに一任する。
- (4) 試合ごとに、登録選手全員が随時、自由に交代することができる。
フィールド上に8人の競技者がいない場合、試合は参考試合となる。
- (5) コートの広さは、各ブロックに一任する。
- (6) ゴールは、少年用ゴールを使用する。
- (7) 本大会の試合中、退場処分を受けたものは、次の試合1試合に出場できない。
(警告回数が2に達した場合も同処置とする。)
次の試合はその選手を除いた8名で行う。
- (8) 試合球は4号ボールとする。
- (9) 8人制の審判は一人の主審と一人の補助審判(必須)で行う。

9. 大会参加費 5,000円

10. 競技のフィールド コートの広さ 30~40m×50~60mを標準とする。

ペナルティーエリアの縦 12m ペナルティーマーク 8m

ペナルティーアークの半径 7m ゴールエリアの縦 4m

センターサークルの半径 7m

11. 大会参加費 5,000円

12. その他 登録選手全員が、ベンチ入りできる。また全員が出場できるようチームで配慮する。

ハトマーク フェアプレーカップ 中央大会実施要項

1. 日 程 2016年 6月18日(土)・6月19日(日)
2. 会 場 朝日サッカー場・府中市少年サッカー場
3. 協 力 府中YSS
4. 参加資格 ブロック大会推薦の3チーム
5. 試合方法 4ブロックでAからDまでの4グループに別れ、グループ内での試合となる。
1日目：予選3チームリーグ (2試合・20分ハーフ)
2日目：順位トーナメント (2試合・20分ハーフ)
6. 競技規則 (1) 試合は、実施年度「サッカー競技規則および「8人制サッカールール」」に準じる。
(2) 競技は8人制とし、常に両チームとも8人の競技者で試合を行う。(試合開始時に8人が必要)
一方のチームがフィールド上に8人の競技者がいない場合、試合は参考試合とする。ただし、主審の承認を得て、用具を正すまたは負傷の処置で一時的に、8人未満の場合はその限りではない。なお、すみやかに復帰または交代して、8人の競技者にするものとする競技者が退場を命じられた場合は、交代要員の中から即、競技者を補充することができる。主審は競技者の補充が行われようとしている間は、試合を停止する。交代ゾーンを使用する「自由な交代」を採用する。交代手続きは主審に通知する必要はないが、ゴールキーパーの交代はボールアウトオブプレー中に主審に通知する。
(3) 本大会の試合中、退場処分を受けたものは、次の試合1試合に出場できない。
(警告回数が2に達した場合も同処置とする。)
次の試合はその選手を除いた8名で行う。
(4) 8人制の審判は一人の主審と一人の補助審判(必須)で行う。
(5) キックオフから直接相手のゴールに入った場合は、相手にゴールキックが与えられる。
(6) 試合ごとに、登録選手全員が随時、自由に交代ができる。そのために交代ゾーンを設ける。ただし、ゴールキーパーの交代はボールアウトオブプレー中に、主審に通知する。
(7) リーグ戦の順位 ①勝ち点 ②得失点 ③総得点 ④直接対決
⑤抽選 (勝ち：3 引き分け：1 負け：0)
(8) トーナメント戦は同点の場合3人ずつのPK方式により決定する。
(9) コートの広さは、60m×40mを基本とする。
(10) ユニフォーム(正副)2着のメンバー表と一緒に提出する。ユニフォームについて、日本サッカー協会「ユニフォーム規程」及び「各大会要項」による。
7. 表 彰 各グループ別に表彰
・チーム表彰 フェアプレー賞(もっともフェアなチーム)・グッドマナー賞
・個人表彰 優秀選手10人 ※選手宣誓(3)ブロック
8. その他
・各ブロックの予選より8人制で実施する。
それ以外の方法でチーム選考があった場合は、中央大会出場は認めない。
・登録選手全員が、ベンチ入りできる。全員が出場できるようチームで配慮する。
・ハンドブック記載の中央大会参加に関する要件を厳守する。
大会当日来場する指導者、保護者、選手、関係者に周知徹底する。
・選手に事故が起きた時、応急の対応はするがその後の処理はチームの責任において行う。応援に参加する保護者などについては、会場での事故等に対して、選手と同様、応急の対応をするが、その後の処置などは本人の責任のもとで行う。チームの責任者はこのことを徹底させ、了承の上で会場での応援を許可する。